

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ゴールドウィン

コード番号 8111 URL <http://www.goldwin.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 西田 明男

問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 兼財務部長 (氏名) 二川 清人

TEL 03-3481-7203

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	18,136	△6.2	△899	—	△381	—	△510	—
21年3月期第2四半期	19,326	—	△1,208	—	△424	—	△127	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△8.76	—
21年3月期第2四半期	△2.19	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭		
22年3月期第2四半期	41,353	—	12,631	—	30.1	213.17
21年3月期	38,479	—	12,894	—	33.0	217.78

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 12,427百万円 21年3月期 12,699百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	43,000	△2.4	600	211.6	1,800	16.4	1,400	3.7	24.01

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

〔(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他 をご覧ください。〕

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第2四半期 58,478,218株 21年3月期 58,478,218株

② 期末自己株式数 22年3月期第2四半期 179,463株 21年3月期 163,276株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第2四半期 58,305,728株 21年3月期第2四半期 58,313,918株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、4ページ【定性的情報・財務諸表等】 3. 連結業績予想に関する定性的情報 をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年来の景気低迷が続く中で一部に回復の兆しが見られるものの、企業収益と雇用環境の悪化等により引き続き厳しい状況で推移をいたしました。スポーツアパレル業界におきましても、健康に対する意識の向上によりスポーツへの関心は高まっておりますが、消費マインドの冷え込みや消費者の低価格志向により個人消費の低迷が続く、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような経営環境の中、当社グループ（当社、連結子会社および持分法適用会社）は当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画に基づき経営構造改革に全力をあげて取り組んでおります。いわゆるリーマンショックに端を発する市場の冷え込みと価格の下落傾向に対応するため、市場への早期投入と総供給量の抑制により販売ロスを低減し、前年同期比減収ながら利益の確保に努めました。

ブランド事業といたしましては、アスレチックスタイル事業におきまして、「スピード」ブランドの積極事業拡大を進めております。来年から国際水泳連盟の水着規定が変更される影響により選手等の買い控え現象が発生し、売上高の伸長は鈍化しておりますが、新規定適合水着の開発を急ピッチで進め、早期に市場投入する予定です。「エレッセ」ブランドにつきましては、ブランド生誕50周年を機会にブランドのプロモーション活動を積極的に実施して再成長を図っております。また、「チャンピオン」ブランドにつきましては、事業構造改革を実施し店頭管理型、実需型ビジネスモデルへの業態転換を推進中であります。

アウトドアスタイル事業におきまして、「ザ・ノース・フェイス」ブランドは、ジャケット商材と以前から強化してきたレディースアイテムが好調に推移しました。また、直営店舗も新規に3店舗出店し堅調に推移しております。

アクティブスタイル事業におきましては、ウインター関連商品は早期予約会においてユーザーより高評価を得ております。また、自転車、バイクウェアなどの通年型商品群も堅調に推移しております。

また、新規事業として5月よりオリジナルブランド「C3fit（シースリーフィット）」を立ち上げ、コンプレッション機能を軸に医療機器クラスI適合のアイテムも含めて販売を開始し、展開店舗数および売上高ともに順調に推移しております。マルチスポーツ対応の汎用ブランドとして短期に市場浸透を図ります。

さらに今秋冬商品として、着るだけで汗のニオイと加齢臭をしっかり消臭する『マキシフレッシュプラス』に高い保温機能を加えたアンダーウェアを、全社横断型商品として「ザ・ノース・フェイス」、「ヘリーハンセン」、「エレッセ」、「カンタベリー」の4ブランドで展開し、スポーツ市場のみならず、下着売場、WEBストアなどでの拡販を図っております。

これらの結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高18,136百万円（前年同期比6.2%減）、営業損失899百万円（前年同期は1,208百万円の損失）、経常損失381百万円（前年同期は424百万円の損失）、四半期純損失510百万円（前年同期は127百万円の損失）となりました。

なお、当社グループの売上高は取扱商品の特性上、上半期が下半期に比べて金額が少ないため、連結会計年度の上半期の売上高と下半期の売上高との間に著しい相違があり、上半期と下半期の業績に季節的変動があります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べて2,873百万円増加し41,353百万円となりました。主な要因は、商品及び製品の増加1,812百万円、受取手形及び売掛金の増加519百万円であります。

負債合計は、前連結会計年度末比3,137百万円増加し、28,722百万円となりました。主な要因は、短期借入金の増加2,830百万円であります。

純資産合計は、前連結会計年度に比べて263百万円減少し、12,631百万円となりました。その結果、自己資本比率は30.1%となっております。

（キャッシュ・フローの状況）

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は3,519百万円となり、前連結会計年度末より192百万円増加いたしました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用したキャッシュ・フローは3,331百万円（前年同期は2,335百万円の使用）となりました。主な要因は、たな卸資産の増加1,775百万円、仕入債務の減少883百万円等であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用したキャッシュ・フローは238百万円（前年同期は833百万円の獲得）となりました。これは主に、出資金の増加および差入保証金に係る支出によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果得られたキャッシュ・フローは3,529百万円（前年同期は511百万円の獲得）となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成22年3月期の業績予想につきましては、概ね当初の予想通りに推移しており、平成21年5月15日公表の当期予想から変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① 簡便な会計処理

・一般債権の貸倒見積高の算定方法

当第2四半期連結会計期間末の貸倒実績率等が前連結会計年度末に算出したものと著しい変化がないと認められるため、前連結会計年度末において算定した貸倒実績率等を使用して貸倒見積高を算定しております。

・固定資産の減価償却費の算定方法

減価償却の方法として定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定しております。

② 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理

該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,037	3,825
受取手形及び売掛金	9,872	9,352
商品及び製品	8,881	7,069
仕掛品	66	69
原材料及び貯蔵品	782	777
その他	1,575	1,419
貸倒引当金	△33	△32
流動資産合計	25,182	22,481
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,321	2,365
土地	1,247	1,247
その他（純額）	371	347
有形固定資産合計	3,939	3,960
無形固定資産		
商標権	985	1,179
その他	196	186
無形固定資産合計	1,182	1,365
投資その他の資産		
投資有価証券	6,550	6,394
差入保証金	3,057	2,937
その他	1,809	1,709
貸倒引当金	△368	△368
投資その他の資産合計	11,049	10,671
固定資産合計	16,171	15,998
資産合計	41,353	38,479

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,512	10,320
短期借入金	4,808	1,978
1年内償還予定の社債	960	1,230
1年内返済予定の長期借入金	2,621	1,890
未払法人税等	114	110
賞与引当金	597	463
返品調整引当金	328	318
その他	1,480	1,411
流動負債合計	20,423	17,722
固定負債		
社債	—	140
長期借入金	5,628	5,223
退職給付引当金	1,795	1,719
その他	875	780
固定負債合計	8,299	7,862
負債合計	28,722	25,585
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,329	10,329
資本剰余金	8	8
利益剰余金	3,323	3,834
自己株式	△41	△38
株主資本合計	13,620	14,134
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	176	20
繰延ヘッジ損益	△35	△35
為替換算調整勘定	△1,334	△1,419
評価・換算差額等合計	△1,192	△1,434
新株予約権	185	185
少数株主持分	17	9
純資産合計	12,631	12,894
負債純資産合計	41,353	38,479

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	19,326	18,136
売上原価	12,204	10,830
売上総利益	7,121	7,305
返品調整引当金戻入額	27	—
返品調整引当金繰入額	—	10
差引売上総利益	7,149	7,295
販売費及び一般管理費	8,357	8,194
営業損失(△)	△1,208	△899
営業外収益		
受取利息	18	16
受取配当金	27	23
持分法による投資利益	952	618
その他	94	76
営業外収益合計	1,091	735
営業外費用		
支払利息	151	143
その他	156	74
営業外費用合計	307	217
経常損失(△)	△424	△381
特別利益		
固定資産売却益	387	0
貸倒引当金戻入額	50	1
その他	23	—
特別利益合計	460	1
特別損失		
固定資産処分損	12	5
店舗閉鎖損失	—	3
ブランド整理損	55	—
特別退職金	—	5
その他	32	0
特別損失合計	100	15
税金等調整前四半期純損失(△)	△63	△395
法人税、住民税及び事業税	63	112
法人税等合計	63	112
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△0	2
四半期純損失(△)	△127	△510

(第2四半期連結会計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	11,534	11,357
売上原価	7,482	6,804
売上総利益	4,051	4,553
返品調整引当金繰入額	83	153
差引売上総利益	3,968	4,400
販売費及び一般管理費	4,261	4,104
営業利益又は営業損失(△)	△293	295
営業外収益		
受取利息	11	10
受取配当金	0	1
持分法による投資利益	450	246
その他	56	49
営業外収益合計	518	308
営業外費用		
支払利息	84	84
為替差損	48	7
その他	60	32
営業外費用合計	193	124
経常利益	31	479
特別利益		
固定資産売却益	387	—
貸倒引当金戻入額	13	—
その他	21	—
特別利益合計	422	—
特別損失		
固定資産処分損	1	5
店舗閉鎖損失	—	3
ブランド整理損	48	—
その他	31	0
特別損失合計	81	9
税金等調整前四半期純利益	371	470
法人税、住民税及び事業税	48	82
法人税等合計	48	82
少数株主利益	0	2
四半期純利益	323	385

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純損失(△)	△63	△395
減価償却費	328	355
退職給付引当金の増減額(△は減少)	5	76
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△46	0
受取利息及び受取配当金	△45	△40
支払利息	151	143
持分法による投資損益(△は益)	△952	△618
有形固定資産売却損益(△は益)	△387	△0
売上債権の増減額(△は増加)	1,088	△410
たな卸資産の増減額(△は増加)	△538	△1,775
仕入債務の増減額(△は減少)	△930	△883
その他	△457	△31
小計	△1,848	△3,578
利息及び配当金の受取額	92	576
利息の支払額	△157	△170
法人税等の支払額	△90	△158
訴訟和解金の支払額	△332	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,335	△3,331
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△875	△908
定期預金の払戻による収入	826	902
有形及び無形固定資産の取得による支出	△62	△35
有形及び無形固定資産の売却による収入	1,018	0
投資有価証券の取得による支出	△12	△1
投資有価証券の売却による収入	37	0
差入保証金の差入による支出	△11	△98
その他	△86	△97
投資活動によるキャッシュ・フロー	833	△238
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	10,950	11,240
短期借入金の返済による支出	△7,960	△8,410
長期借入れによる収入	750	2,150
長期借入金の返済による支出	△2,612	△1,014
社債の償還による支出	△620	△410
その他	4	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー	511	3,529
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	16
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△991	△24
現金及び現金同等物の期首残高	4,619	3,326
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	216
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,628	3,519

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

〔事業の種類別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

スポーツ用品関連事業の売上高および営業利益の金額は、全セグメントの売上高の合計および営業利益の合計の金額の合計額に占める割合がいずれも90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

〔所在地別セグメント情報〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

本邦の売上高は、全セグメントの売上高の合計に占める割合がいずれも90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第2四半期連結累計期間（自平成20年4月1日 至平成20年9月30日）および当第2四半期連結累計期間（自平成21年4月1日 至平成21年9月30日）

海外売上高は、いずれも連結売上高の10%未満であるため、海外売上高の記載を省略しております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

スタイル事業別連結売上高

区分	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)		増減率 (%)
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	
アスレチックスタイル事業関連商品	7,133	36.9	6,263	34.5	△12.2
アウトドアスタイル事業関連商品	8,391	43.4	8,540	47.1	1.8
アクティブスタイル事業関連用品	1,858	9.6	1,708	9.4	△8.1
その他	1,942	10.1	1,623	9.0	△16.4
合計	19,326	100.0	18,136	100.0	△6.2